

6月定例会 市長より議会へ 行政報告



門脇 慎夫 市長

平成20年第2回定例会が6月11日に開会された。定例会初日には、議長・各特別委員会委員長の報告、また、門脇市長より各課関連の行政報告があった。行政報告から抜粋して掲載する。

保育園建設

本年度に建設予定の保育園は、名称を公募により「なかよし保育園」と決定した。なかよし保育園は現在、建築確認の申請手続き中であり、許可が

おり次第、建設工事の入札を行う予定で、二十一年四月開園に向け年度内の完成を目指している。

また、新たに建設するB保育園（仮称）については、建設用地の選定に取り組んでいる。

有害鳥獣被害対策

十九年度の主な捕獲頭数はニホンジカ七百五頭、イノシシ七十頭、サル二十八頭であり、ニホンジカは、前年度に比べ約二百頭の増加となった。今年度より

肉加工施設をべふ峡温泉に設置する計画となっている。

予察捕獲を四月一日から十月三十一日まで、来年三月十六日から三十一日まで行うことになっている。

また、阿佐地域鳥獣害防止広域対策協議会では、今年度もネット牧柵の設置を中心に、狩猟免許取得に係る事前講習会、食肉に関する調査研究、捕獲機材の購入を盛り込んだ事業計画を作成し、国に応募している。

食肉加工については、奥物部開発公社が事業主体となって、市単・県単事業を活用し、食

道路関係

時限立法の期限切れとなっていた揮発油税

等通称「ガソリン税」の暫定税率継続に関する法案が、四月末に可決された。続いて、五月十三日に「道路整備費財源特例法改正案」が衆議院で再可決され、本年度に予定していた道路関係予算の執行に目途が立った。

今後は、県の内示に従って交付申請を行い、交付決定の日をもって実施することとなるので早期に着手できるように準備している。

また、道路整備費財源特例法改正案の再可決の中で、来年度以降の一般財源化が閣議決定されたが、本市としては必要な道路整備の予算の確保に努めていく。

新庁舎建設

基本設計については、職員チーム、議会庁舎建設特別委員会と協議し内容を詰めており、免震構造の鉄筋コンクリート五階建ての庁舎となる。

また、将来の市役所機能の利便性・発展性を考慮し、国道一九五号からの直接進入路及び駐車場として、公用車駐車場北側の「フジヤ」を現状のまま建物を含め購入することとした。

IT設計及び施工については、設計施工一括発注方式を採用し、移行時に問題が発生し

建物とは当面、選挙管理委員会や電算室の仮事務所として使用する。

集会所の整備

香北町の三谷地区集会所は、昨年度に基本設計を完成させており、本年度は施設整備の実現を図るため、県から「元気の出る市町村総合補助金合併枠」で支援を受けるべく、交付申請手続きを行っている。今後は、旧谷相小学



谷相小学校あと

校舎等の解体撤去、実施設計、本体工事と進め、二十一年二月の完成を予定している。

また、地域の要望をできる限り反映するよう、実施設計においても設計士を含めた地元協議を行い、地域活動の拠点として末永く活用されるような施設を目指して取り組んでいく。

行政連絡会

四月二十六日に、保健福祉センター香北にて行政連絡会が開催され、土佐山田町五十六名、香北町二十三名、物部町十九名の自治会長が出席された。当日は、市政の報告、当初予算の説明、各課

検査用採血器具

からの報告、質疑応答を行い、特別プログラムとして尾崎正直高知県知事を招き「高知県政について」と題し、講演が行われた。特別プログラムが入ったこともあり、質疑応答の時間が十分に確保できなかったことについて、来年度以降、行政連絡会の運営を検討しなければならない。

とを十分検証し、反省と再発防止に努めるよう指導した。

改めて、対象者の方々に大変なご迷惑とご心配をおかけし、深くお詫び申し上げます。

観光関係

全国的に検査用採血器具の不適切な使用が発覚している。本市においても平成十二年度から十七年度までの糖尿病教室にて対象となる採血器具の不適切な使用があった。使用内容

香美市観光協会の総会が五月二十三日に行われ、本年度は体験型観光をはじめ観光客誘致宣伝事業、特産品の開発及び販売活動、道の駅実現に向け検討し

寄付金税制の拡充

個人住民税の寄付金控除の拡充（ふるさと納税制度）を盛り込んだ改正地方税法がスタートした。当初、ふるさととは「小中学校の義務教育期間を過ぎた自治体」というような一定の定義の基に検討されていたが、最終的にはそういった定義は除外され、単純に自治体に対する寄付金について、個人住民税所得割からの税額控除が拡充されるものとなった。本市としては、この制度に基づき、寄付金の活用の方法や寄付者の立場から見た寄付金のあり方について総合的に検討しており、早期に具体的取り扱い等を確定し、ホームページ等を通じて情報を提供していきたい。

対象者が特定されているので、すでに担当課が家庭訪問し、お詫びとご説明を申し上げ、再度医療機関で肝炎検査を受けていただくようお願いしている。肝炎検査対象者は、香北町十九名、物部町三名であり、検査結果に基づき適切な治療や経過観察を行っていく。

また、香美市夏の三大祭りである川上様夏祭り、土佐山田まつり、奥物部湖水祭りは、本年もそれぞれの実行委員会でする。

担当課には今回のこ